

平成29年度 事業報告

第1 一般概況

平成29年度の国内経済は、自動車や工作機械などを中心に堅調な輸出や経済対策に伴う公共投資の増加、などによる下支え効果。建物等・サービス消費を中心に比較的堅調な個人消費、増加基調を維持する設備投資など、民需の回復基調が見られたとされている一方で、北海道の経済は、昨年8月に相次いだ台風等災害からの復旧工事関連の工事の増加、外国人観光客の来道数が改善傾向となる他、スーパーやコンビニエンスストアなどでの個人消費も緩やかながらも回復基調を見せるとともに、市街地再開発や宿泊施設の新築・立替え等による設備等投資の高まりも見られ、新築住宅着工戸数は持家・貸家も緩やかな持ち直しが見られたとの動向判断もなされている。

他方で、当会員団体建築業を取り巻く環境は、震災被災地の復興工事の継続や2020オリンピック開催関連施設の建築等に伴い、建築資材等の高騰や中堅技能者の流出、熟練技能者のリタイア、若年技能者の入職不足、人手不足に伴う労働賃金の高騰、処遇の改善など、業務受注に関わる諸問題を抱える中に、省エネで耐震性を備えた長期優良住宅・バリアフリー住宅などに加え、ユーザのライフスタイルに応じた住環境とともに安全・安心・癒される新築住宅・リフォーム住宅の供給が一層求められ、住みやすい地域社会の発展を担う住宅建築供給事業者の責務として、常に新しい知識や技術・技能の習得・向上・改善・人材の育成が求められる厳しい時代に突入している。

このような状況を踏まえ、当連合会は、会員事業所相互の連帯を基に、若年技能者の入職促進、中堅技能者の技能向上、意識の啓発を目的に、本年度も「全道建築大工技能競技大会」を開催し、公共訓練施設及び認定訓練施設との連携を図りつつ、次世代の地域建築業を担う若年、中堅技能者に木造建築の「魅力ある技・よりよいものをつくる感激」等を肌で感じる競技事業を展開し、建築業に興味を持つ学生・転職者等に広くPRを図った。

また、会員団体の協力の基に、会員事業所従事者の作業安全に関する知識・技能の習得・向上・資格の付与を目的としながらも、会員外事業所従事者にも受講を促し、地域建築事業所全体の安全作業の実施を図る技能講習、特別安全教育等を実施するとともに登録建築大工基幹技能者事業についても、当会HP等をとおして会員内外に建設業法の一部改正内容とともに有資格のメリット増の周知を図り、講習会事業を展開した。

「地域社会に貢献でき、地域ユーザに選ばれる工務店」等を経営・継続していくには常に新情報の収集、社員・従業員に対する安全作業や技能向上等の講習・教育の受講が求められており、当会の事業展開がその一端を担っている現状にあるが、連合会の存在意義、有無の自社に対する影響を理解できない事業者も少なからず存在し、わずかずつではあるが会員の減少が続き、厳しい財務状況での運営であった。

以上のことから平成29年度も、当連合会の運営継続・会員の定着・増幅を図るため「経営改善委員会」「会員啓発・福利厚生委員会」「技術技能委員会」を展開し、理事会への報告・提言などをとおし組織運営の改善・向上を図った。

内容は、以下に記載したとおりである。

第2 総務企画委員会に関する事こと

1. 組織管理運営

年・日	事業名(実施項目)	開催場所	参加人員	備考(内容)
4/28	監事監査	北建連事務室	監事2名	平成28年度収支会計監査
5/26	第1回理事会、定時総会	KKRホテル札幌	11名 (他2名)	平成28年度事業、収支決算について 平成29年度事業計画(案)、予算(案)について 平成28年度公益目的支出計画実施状況 監査報告 役員を選任について
7/4	第1回経営改善委員会	当会事務所	6名	北建連運営の現状について(報告) 北建連運営の取組方策、改善策等について
7/11	第1回技術技能委員会	ホテル ポールスター-札幌	10名	29年度全道建築大工技能競技大会 実施計画(要領)について 大会役員及び審査員の選任について 大会予算等について 競技課題及び審査要領等について 競技材料、会場準備等について
7/14	第1回臨時理事会 (書面表決開催)	当会事務所	10名	理事の追加選任について 理事追加選任に係る臨時総会 (書面表決)開催について
7/20	第1回会員啓発・福利厚生委員会	当会事務所	6名	北建連運営の現状について(報告) 福利厚生の現状と今後の取組等について
8/4	第1回臨時総会 (書面表決開催)	当会事務所	10名	理事の追加選任について
10/10	北海道労働局監査	北建連事務所	安全課 職員2名	登録教習機関及び技能講習実施に係る監査 (9:00~16:00)
10/17	第2回技術技能委員会	ホテル ポールスター-札幌	8名	技能競技大会実施要領、採点基準等 の改善について
10/26	第2回理事会	帯広建築工業協同組合 2階大会議室	11名 他 オブザーバー	全建連会議等の概要について 役員改選に係る登記等報告について 北建連事業推進の現状(事業・収支報告)について 各委員会会議の報告等について 全建連事業の取組支援について 委員会、事務局等取組について

年・日	事業名(実施項目)	開催場所	参加人員	備考(内容)
1/25	第1回常任理事会	北建連事務所	7名 オブザーバー1名	北建連事業の推進について(収支報告等) 技能講習及び教育事業等について(報告) 全建連事業の概況等について(理事長報告) 役員体制等について 運営資金の確保等取組対策について
3/23	第3回理事会	ホテルポールスター 札幌	10名 オブザーバー1名	平成30年度事業計画(案)について 平成30年度収支予算(案)について 定時総会提案事項について 平成29年度下半期の事業推進報告等について

2. 全建連事業への参加・強調

年・日	事業名(実施項目)	開催場所	参加人員	備考(内容)
5/17	第163回定例理事会	東京都 建設国保会館	1名	守田理事長出席
5/30	平成29年度定時総会	東京都 建設国保会館	1名	守田理事長出席
7/7	第1回事業委員会	東京都 建設国保会館	1名	守田理事長出席
9/5	第2回事業委員会	東京都 建設国保会館	1名	守田理事長出席
12/15	第165回定例理事会	東京都 建設国保会館	1名	守田理事長出席
1/24	ZEH勉強会	札幌市 タカオカビル	9名	会員団体長外
3/14 ~ 3/15	建設国保加入促進事業説明会	東京都 建設国保会館	1名	守田理事長出席
3/30 ~ 3/31	第166回定例理事会	東京都 建設国保会館	1名	守田理事長出席

3. 関係機関、団体との連携強化

年・日	事業名(実施項目)	開催場所	参加人員	備考(内容)
8/4	社会保険未加入対策に関する説明会	札幌市 北海道建設会館	1名	川崎専務理事出席
9/13	平成29年度全国労働衛生実施要領説明会	札幌市 北海道建設会館	1名	川崎専務理事出席
9/26	第38回建設産業交通安全全道大会	ホテル札幌ガーデンパレス	1名	川崎専務理事出席

4. 財務対策の推進

- (1) 本会の財務基盤の安定を図るため、全ての経費の節減に努めた。
- (2) 技能講習及び能力向上教育・特別教育等の実施に積極的に取り組むとともに、受講者募集案内について、当会HPへの掲載の他、事業所への直接周知を図った。
- (3) 講習・教育会場等は、低料金の道立職業能力開発支援センター、人材開発センター一他会員団体関連施設を利用し、経費の節減に努めた。
- (4) 札幌地域開催の講習・教育等の実施は、1コースのみ登録講師の支援を受けたが他は事務局長が担当し、報償費の節減を図った。
- (5) 会員団体不在地域の人材開発センターに、技能講習実施委託等の依頼に努めた。
- (6) 会員団体地域での講習及び教育等開催の取組依頼に努めた。
- (7) ちきゅう住宅検査員の減少、退会を防止を図る事を目的に、少数受講者が地域に拡散していることから集まりやすい札幌開催で実施した。
- (8) 登録建築大工基幹技能者講習の展開を図るため、受講者募集案内をHPに掲載し周知を図るとともに、受講希望者からの問合せ等に懇切に対応し、実施の促進に努め、札幌開催で1コース実施した。
- (9) 会員構成員の退会防止、新規入会者の促進を図るため、受講者少数の講習・教育等の実施に努めた。
- (10) 留萌・網走・釧路団体の講習・安全教育の継続実施の外、函館団体においても技能講習開催の取組が図られた。

第3 経営改善委員会に関する事こと

- 1 北海道建築研修大会の実施
 - 日 時 平成29年度は休止年
 - 会 場
 - 参加者
 - 参加の範囲
 - 後援者
- 2 住宅性能保証制度及び適合証明検査業務（フラット35）の普及促進
- 3 住宅建築に関する制度改正への対応
 - (1) 木材利用ポイント事業に係る情報の周知
 - (2) 社会保険未加入対策の周知
 - (3) 金融融資制度の情報提供

4 委員会の開催

日 時 平成29年7月4日（火）13：30～16：00
場 所 北建連事務所
出席者 6名 亀田管掌副理事長、田中委員長、古田委員（帯）
高橋委員（留）、佐藤委員（胆）川崎事務局長、
内 容 (1) 北建連運営の現状について
(2) 北建連運営の取組方策、改善策等について

第4 会員啓発・福利厚生委員会に関する事こと

1 委員会の開催

日 時 平成29年7月20日（木）13：30～16：00
場 所 北建連事務所
出席者 5名 亀田管掌副理事長、小沢委員長、瀧川委員（網）
河瀬委員（帯）、川崎事務局長
内 容 (1) 北建連運営の現状について
(2) 福利厚生の現状と今後の取組について
(3) 会員拡充の方策等取組について

2 表彰について

本年度は、北海道建築研修大会の休止年度であることから、北建連理事長表彰の推薦募集を行わなかった。

下記(1)(2)に対する推薦募集を会員団体に周知したが、推薦候補者がなかった。

(1)国土交通大臣顕彰(建設マスター) 受賞者0名

(2)全建連会長表彰 受賞者0名

- ア 功績表彰(0名)
- イ 技能功労表彰(0名)
- ウ 勤続功労表彰(0名)
- エ 模範的な優秀技能者(0名)

第5 技術技能委員会に関する事こと

1 第1回委員会の開催

日 時 平成29年7月11日（火）13：00～16：15
場 所 ホテルポールスタ-札幌 4階シャクナゲ
出席者 10名 河西管掌副理事長、高田委員長、甘野副委員長（札）
中村委員（帯）、小西委員（函）村上委員（釧）
長南委員（旭）、藤井委員（網）、首藤委員（賛）
川崎事務局長
内 容 (1) 大会実施要領、役員・審査員の選任について
(2) 大会予算及び参加費について
(3) 競技課題及び審査要領等について
(4) 競技材料の準備、注文先について
(5) 前日及び当日の集合時間、方法について

- 2 第2回委員会の開催
- 日 時 平成29年10月17日（木）13：00～16：15
- 場 所 ホテルポールスター札幌 4階アカシア
- 出席者 8名 高田委員長、中村委員（帯）、小西委員（函）
村上委員（釧）、長南委員（旭）、藤井委員（網）
首藤委員（賛）、川崎事務局長
- 内 容 平成29年度全道建築大工技能競技大会の課題・採点要領等について
- 3 第55回技能五輪全国大会の北海道代表選手推薦
- 開催日 平成29年11月24日（金）から11月27日（月）まで
- 場 所 栃木県宇都宮市
- 参加者 建築大工部門6名（山崎 匠（旭訓）、小林 翼（旭訓）
金森 翼（釧協）、石橋 昂大（旭訓）
田村 棕佑（釧学）、齊藤 和弥（帯組））
- 競技結果 入賞、敢闘賞受賞者なし
- 4 技能グランプリへの推薦
- 開催日 隔年開催により29年度は休止
- 場 所
- 参加者
- 5 第9回全建連建築技能競技大会開催
- 開催日 平成30年2月11日（日）から12日（月）
- 場 所 碧南市ものづくりセンター（愛知県碧南市汐田町）
- 参加者 推薦応募なし
- 6 平成29年度全道建築大工技能競技大会開催
- 開催日 第1回 平成30年3月3日（土）
第2回 平成30年3月18日（日）
- ※ 全道的悪天候により参加予定者の半数が欠席となったことから、特例措置として欠席者を対象に2回目を実施。
- 場 所 北海道職業能力開発支援センター研修室
- 参加者 全道若年建築技能者及び建築大工技能士
- 競技種目 3種（成年組二級・少年組・技能五輪組）
- 出場者 20名（日程等都合により11名辞退） ◎成年組一級は参加者なし

(1) 団体・種目別参加申込者数内訳（網掛けは悪天候等に伴う欠席、辞退者）

団 体 名	成年組一級		成年組二級		少年組		技能五輪組		備 考
旭川技能協会			2						
旭川建築高等職業訓練校							4		
釧路協会（技術専門校）							1		
帯広建築工業協同組合			1	1					
函館建築工業協同組合					1	1			
道立旭川高等技術専門学院							2		
道立釧路高等技術専門学院							6		
道立帯広高等技術専門学院							5	5	
道立北見高等技術専門学院					2		2		
道立函館高等技術専門学院							4	4	
土屋アーキテクチュアスクール							1		
合 計	0	0	3	1	3	1	25	9	第1、2回合計 11名辞退

(2) 競技結果

種 目	順位	氏 名	性	年齢	所 属
成年組二級	1位	本田 竜也	男	24	旭川建築技能協会
	敢闘賞	山崎 匠	男	23	旭川建築技能協会
少年組	努力賞	新井 幹太	男	19	道立北見高等技術専門学院
技 能 組 五 輪 組	1位	石橋 昂大	男	21	旭川建築職業訓練協会
	2位	金森 翼	男	20	釧路地方建築協会
	3位	若林 光	男	22	道立北見高等技術専門学院
	4位	小林 翼	男	19	旭川建築職業訓練協会
	5位	渡辺 翔	男	20	道立釧路高等技術専門学院
	敢闘賞	村田 翔也	男	20	道立旭川高等技術専門学院
	敢闘賞	今田 秀彦	男	20	道立釧路高等技術専門学院

7 作業主任者技能講習・能力向上教育及び特別教育の実施

建設現場における労働災害の防止を図るため、技能講習登録教習機関として労働安全衛生法に基づく技能講習及び衛生規則改正により事業所に定められた「足場の組立て等作業従事者教育」を、地域事業所に代わって実施した。

受講者数 合計 384人(技能講習147人、能力向上教育46人、安全教育191人)

会員団体	技能講習						
	足場	木建て	木材加工	型枠	地山・土止め	足場能力向上教育	足場特別教育
留萌団体	20			13	17		37
旭川団体							
釧路団体	14	17					65
函館団体							
網走団体	16						47
帯広団体							
北建連事務局	36	7	7	0		46	42
合計	86	24	7	13	17	46	191

8 登録建築大工基幹技能者講習の実施

開催日等についてHPに掲載し、受講PRを図ってきたが、受講希望や受講に対する問合せも、2～3の少数にとどまっている状況にあって、平成29年度の開催見込みは厳しかったが、11月の建設業法施行令の一部改正により登録建築大工基幹技能者が現場常駐の主任者と同等以上の知識及び技術・技能を有する者として認められるようになったことから、必要性に理解を示した他団体会員事業者から講習会の要望があり、全道的に集散しやすい札幌を会場に1回開催し、他事業所への意識付けを図った。

開催日 平成30年1月29日～30日(2日間)
 会場 道立職業能力開発支援センター(白石区東札幌5条1丁目)
 受講者 13名(6事業所)

9 建築技術・技能者の育成

建築設計・施工管理等建築技術・技能のレベルアップを図るため、各種講習や公的資格試験制度の情報提供を行った。

第6 その他関連事業

北海道開発局が主催する「社会保険未加入対策推進北海道地方協議会」の他、北海道建設部、北海道経済部、建設業労働災害防止協会主催の関係会議等に積極的な参加を図ってきた。

また全建連からの協力依頼に適切に対処するとともに、北海道職業能力開発協会及び北海道技能士会、建築生産体制強化推進協議会、北方型住宅ECO推進協議会などの他、関連団体との連携も図られるよう努めてきた。